



「さわやか」から、山田浩美副理事長と事務局三名が出席させていただきました。正午十二時に理事の桜井満様の司会で始まりました。始めに「ほほえみがさき」北川修理理事長の挨拶に続き長崎県腎協の西田通雄会長の挨拶がありました。また、衆議院から二名・長崎県議会から二名・市議会議

祝 5周年・NPO法人格取得記念祝賀会

平成十七年六月十九日に、長崎の「トレデア」ホテルに出島にて「ほほえみがさき」の五周年及びNPO法人格取得記念の大会が行われました。各方面から総勢六十六名が参加されました。



員から一名が出席されており、中でも衆議院 高木義昭議員のお話で「今、国会は、郵政民営化の為にあるような状態ですが、それだけでいいのでしょうか！ まだ議論しなければいけないことが山積しています。障害者自立支援法にしても、障害者の皆さんが、こんなになんばついていらつしやる姿を見て、私なりに、毎日楽しく、生きていくて良かったといえるよう、国政の立場からお役に立っていただく所存です！」との言葉に、本当に理解していただきたいと思えました。続いて、祝電・メッセージ披露があり、「さわやか」の山田副理事長が、所用のため欠席した江頭理事長のメッセージを代読しました。



江頭理事長は、「障害者自立支援法」や「障害者医療費助成制度」など、障害者に対する施策が大幅に「改正」されようとしており、いずれは透析治療も有料になる日が来ることを予想され、透析患者の通院送迎はますます必要性が増し、「ほほえみがさき」の果たす役割は重要になるでしょう。共に頑張りましょう」と、熱いメッセージを送りました。次にボランティア代表の古澤武敏さんが「退職後、毎日が日曜日状態でした。日課の散歩の途中に「ほほえみがさき」ボランティア募集のポスターを目にし、なにかお役に立てれば、と始めましたが、今ではリズムある毎日に変わりました。と挨拶がありました。最後利用者に代表が濱本定さんが車椅子



子で参加され「私は透析をするようになって、生きる気力をなくし、「死」をも考えました。しかし、ボランティアさんの代償を求めない、ひたむきな行動に、自分が元気になり、長生きをすることが、皆さんにお応えすることだ、生きる力と勇気をもらい頑張っています」と感謝の気持ちを静かに語っていました。この言葉ほど、私達送迎事業に携わる者として嬉しい言葉はありません。また、「ほほえみがさき」の設立・運営に貢献された方々に感謝状・記念品の贈呈がありました。会場から大きな拍手がありました。



引き続き、長崎県議会議員の織田 長様の乾杯で交流会へと移りました。会場は一変して、真っ青な海と、笑顔あふれる風を運ぶ琉球太鼓の演奏が始まりました。途中から、来賓の皆様も太鼓を抱え、会場が一体となって沖縄の文化を満喫しておられました。最後に、長崎市市議会副議長 長村康子様の万歳三唱で閉会し、それぞれ又の再会を約束し、帰途に着きました。



暑中お見舞い申し上げます

お盆休みのお知らせ

8月13日より
 8月16日まで
 お休み致します

ボランティア及び利用者の方には
 後日お知らせします



総会開催

五月二十九日(日) ウェルとばた第一一會議室にて第二回特定非営利活動法人通院介護センター「さわやか」の総会が行われました。

総正会員数二十九名、出席者二十五名(うち書面表決者八名)欠席者四名でした。

十六年度事業報告及び収支決算報告ならびに会計監査、活動の現況報告、十七年度の事業計画及び収支予算(案)、活動方針など提案し、審議した結果、満場一致をもって可決されました。

その中で、五月十四日に河添博志副理事長が逝去されたことが報告されました。それに伴い、五月二十六日の理事会に於いて、後任に梶原待子理事が、副理事長に就任したことを報告し、総会は終了しました。



ごあいさつ



梶原 待子
副理事長

この度、河添博志副理事長のご逝去に伴い、後任として「さわやか」の副理事長に就任致しました。

今から十数年前まで私は毎朝夫と子供達の弁当を作り、新聞もテレビ欄しか見ないごく普通の主婦でした。

ここ十年「さわやか」のコーディネーターとしていろいろありました。見るものや、聞くことも初めてのことがばかりでしたがとても勉強になったと思います。

今では新聞もテレビ欄の次に福祉・ボランティア・介護・などという言葉が載っている記事には目が行くようになり、自分の立場での役割など考えさせられるようになりました。

「さわやか」の運営に携わってみて他人事ではなく、自分のためでもある仕事が出来てよかったですと思います。

江頭理事長・山田副理事長の後を付いていくだけです、自分なりに頑張りたいと思います。今後も皆様方のご指導をよろしくお願い致します。

北九州の夏祭り

若松みなと祭

7月30日から8月1日

場所 若松区 久岐の浜 高塔山
樽太鼓をたたく五平太ばやしの競演会や約500人の打ち手が一斉に樽を叩く総打ちが行われクライマックスは約2000人がたいまつをかかげ高塔山へ向けて大蛇のようにうねり登ります



わっしょい 百万夏祭り

8月6日・7日

場所 小倉城周辺
北九州市の5つのまつりが一堂に会する饗宴や約1万人が参加する百万踊りなど盛りだくさんのイベントが用意されています

黒崎祇園

7月20日から7月23日

場所 八幡西区黒崎都心一帯
今年400年の歴史の節目の年を迎えます春日神社・岡田宮・一宮神社の祇園祭として受け継がれています極彩色に飾られた華やかな人形山車ぐるぐる回転し、やがて山車全体が舞を舞っているかのように踊りはじめ勇壮な引き回しが始まります



戸畑祇園大山笠

7月22日から7月24日

場所 戸畑区一帯
昼間は幟大山笠、夜になると提灯大山笠に姿を一変させる309個の提灯のピラミット型の大山笠が「ヨイトサ、ヨイトサ」の掛け声で夜の戸畑の町を駆けめぐります



小倉祇園太鼓

7月15日から7月17日

場所 小倉都心一帯
370年以上の歴史を誇る小倉八坂神社の勇壮な夏祭り『無法松の一生』でも有名な「やっさ、やれやれっ!」の掛け声と共に太鼓を打ちながら小倉の歓楽街を駆けめぐりますクライマックスは約100団体以上が競う競演会が行われます

